

週間市場レポート (2020年11月23日~11月27日)

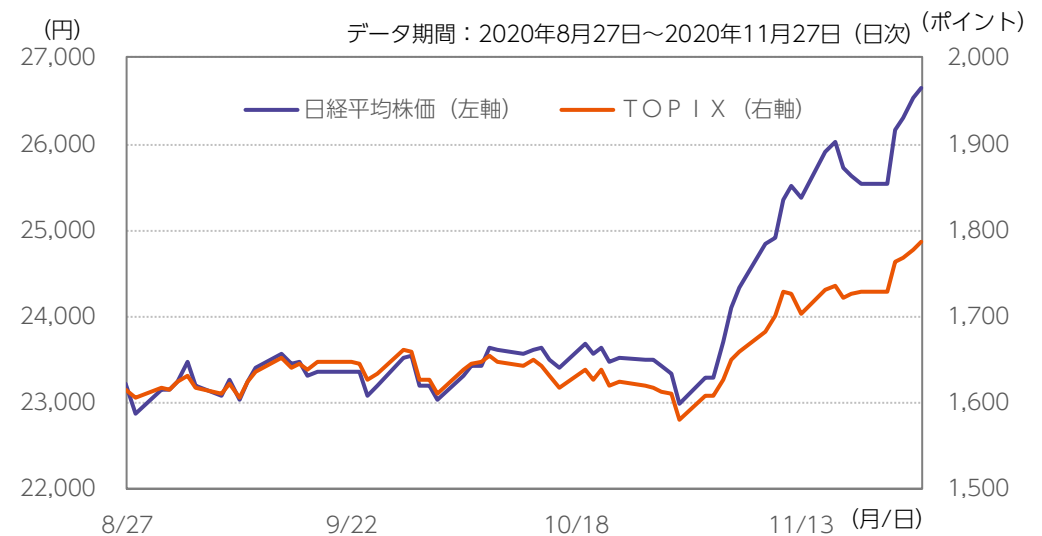
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/11/20	先週末 2020/11/27	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		25,527.37	26,644.71	4.38 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,727.39	1,786.52	3.42 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		29,263.48	29,910.37	2.21 ↗
S&P500種指数		3,557.54	3,638.35	2.27 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,467.60	3,527.79	1.74 ↗
S&P/ASX300指数		6,514.68	6,578.04	0.97 ↗
上海総合指数		3,377.73	3,408.31	0.91 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		965.25	977.72	1.29 ↗
東証REIT指数		1,680.09	1,697.38	1.03 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		708.01	708.56	0.08 ↗
ASX300 REIT 指数		1,448.10	1,460.90	0.88 ↗
グローバルREIT (除く日本)※		170.49	170.85	0.21 ↗
日本10年国債 (%)		0.012	0.031	0.019 ↗
米国10年国債 (%)		0.824	0.837	0.013 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.583	▲ 0.588	▲ 0.005 ↘
英国10年国債 (%)		0.302	0.284	▲ 0.018 ↘
ドル/円		103.86	104.09	0.22 ↗
ユーロ/円		123.16	124.48	1.07 ↗
英ポンド/円		137.85	138.54	0.50 ↗
豪ドル/円		75.85	76.89	1.38 ↗
フィラデルフィア半導体指数		2,555.50	2,631.56	2.98 ↗
WTI原油先物 (ドル)		42.15	45.53	8.02 ↗
CRB 指数		156.16	160.97	3.08 ↗
アレリアンMLP指数		786.03	821.15	4.47 ↗

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。週初より、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待から景気敏感株を中心とした幅広い銘柄が買われ、週間の上昇幅は1,000円以上となりました。週末の日経平均株価の終値は、1991年5月以来およそ29年半ぶりの高値を更新しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

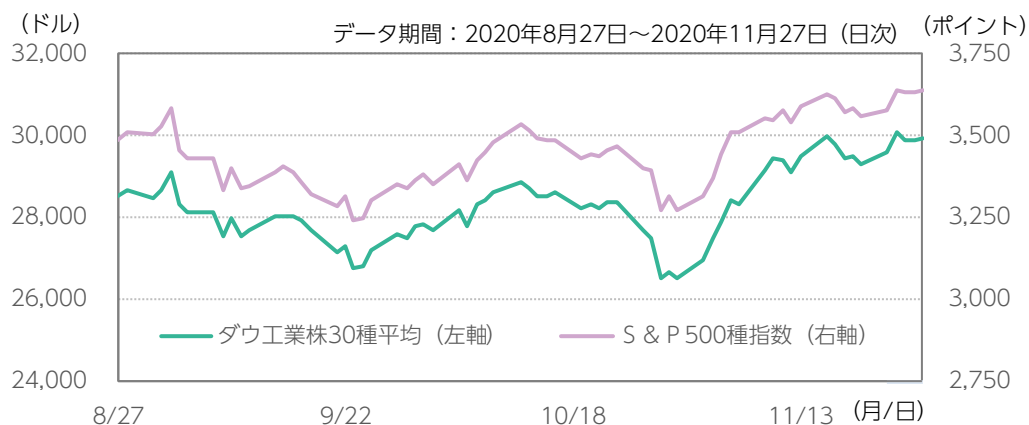
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。国内での感染再拡大による経済活動の再停滞が懸念され、買われる場面もあったものの（利回りは低下）、連日の日経平均株価の上昇を受け、相対的に安全資産とされる債券は週を通じて売りが優勢（利回りは上昇）となりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

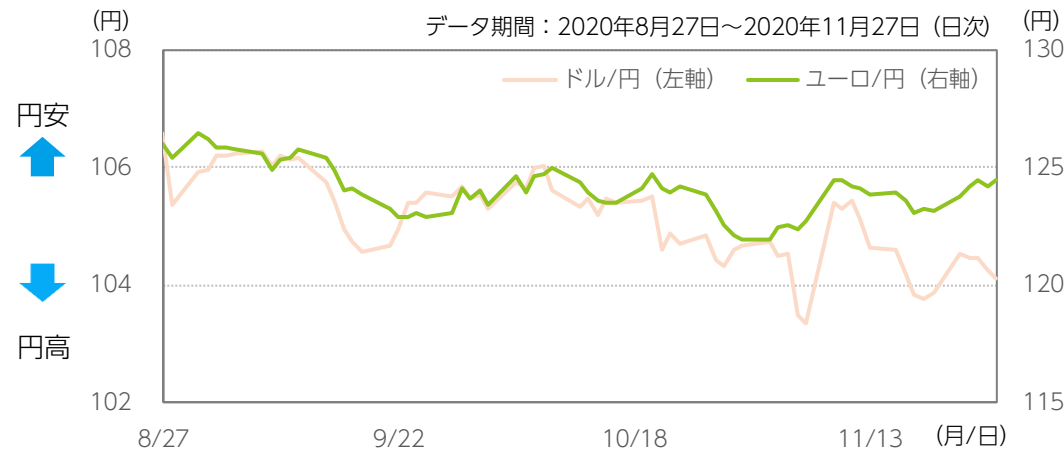
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇となりました。ワクチン実用化に関する続報や、政府機関が政権移行を承認したことなどを好感し、週初より上昇し24日（火）には史上初の3万ドルを突破しました。その後は、感謝祭を控え、利益確定売りに押される場面もあったものの、週間では前週末比で上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で小幅に米ドル高（円安）となりました。次期政権への移行手続きが進む見通しとなり、投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどから、週初は円売り米ドル買いが進みました。週末にかけて、軟調な経済指標の結果を受け、米長期金利が低下したことから、日米金利差の縮小を意識した円買い米ドル売りが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、ワクチンが実用化されることへの期待が高まったことから、前週末比で上昇となりました。

欧米の製薬会社が相次いでワクチン治験の最終段階での有効性を公表しており、ワクチンの開発進展や実用化への期待が高まっています。一方、感染再拡大により、米国や欧州の主要国ではロックダウン（都市封鎖）や飲食店などの営業時間の制限が続いています。国内でも、主要都市などが飲食店へ休業や時短要請をしたことから、経済活動の再停滞による景気回復の遅れが懸念されます。

早ければ欧米では年内のワクチン接種が可能となるとの報道などもあり、今週の株式市場は、引き続きワクチン実用化への期待が支えとなるとみられます。ただし、国内外の感染者数の急増が重荷となり、上値の重い展開を予想します。これまで回復基調を示してきた経済指標ですが、今週公表される米ISM製造業・非製造業や雇用統計が市場予想を下回る結果となれば、株式市場は大きく下落する可能性もありそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>